

エコアクション21

レンティアグループ 環境経営レポート2024



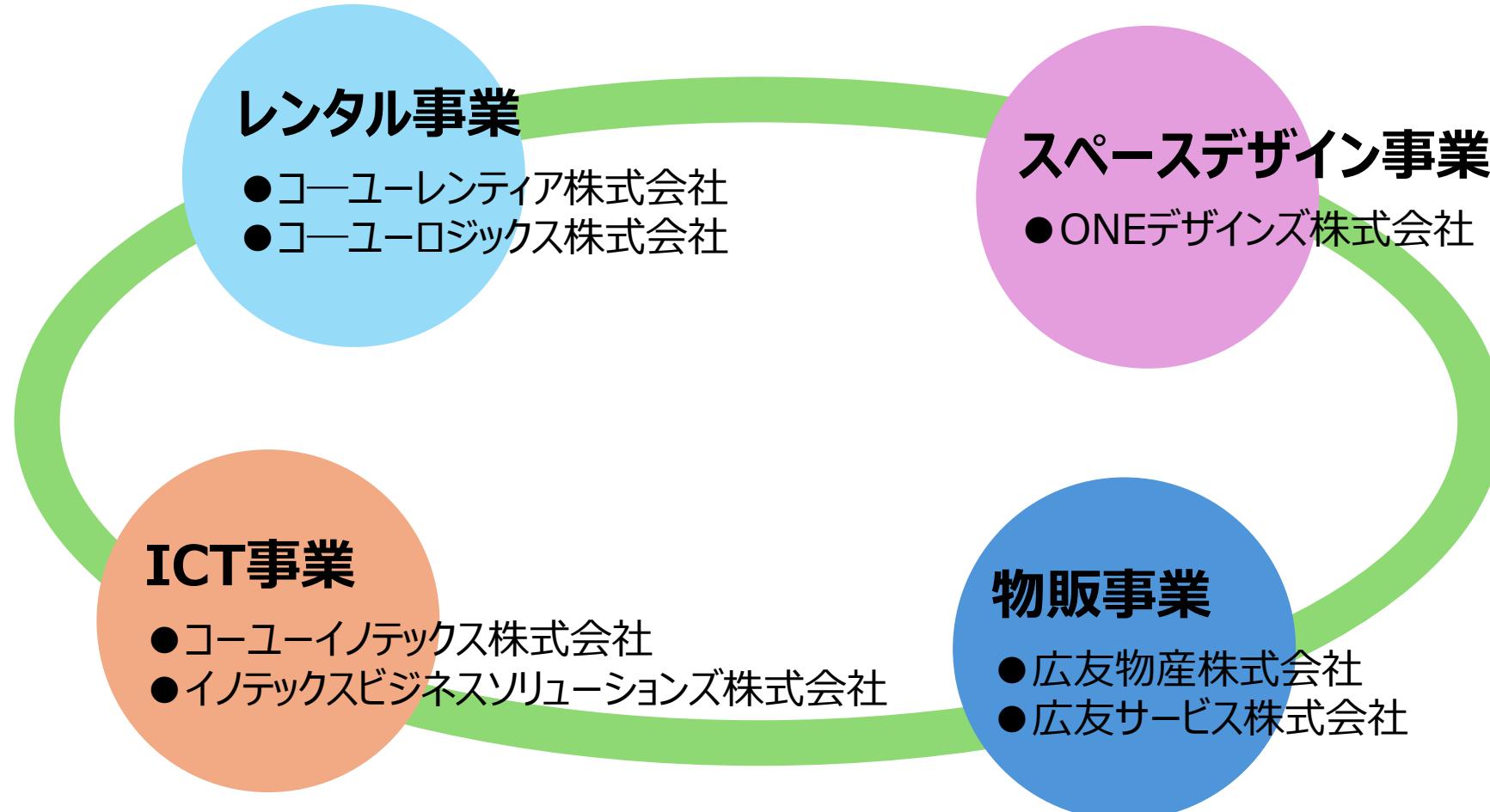
- 対象期間 : 2024年1月1日～2024年12月31日
- レポート発行 : 2025年6月1日

目次

1. レンティアグループの概要	2
2. 環境活動推進体制	6
3. 環境ポリシー（環境経営方針）	7
4. レンティアグループ 環境マテリアリティ	8
5. 環境経営中期目標	9
6. 環境経営計画に基づき実施した主な取組み	10
7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介	
(1) 環境配慮のサービスおよび商品	11
(2) 温室効果ガス排出削減と再生可能エネルギーの導入	17
(3) 環境意識の向上	20
(4) その他の環境取組み	23
8. 環境経営目標の実績評価	24
9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	29
10. 主な環境関連法規などの遵守状況の確認 及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	32
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示	33

1. レンティアグループの概要

「レンティアグループ」として、4つの事業でお客様のビジネスをサポートしています



1. レンティアグループの概要

事業者名	コーエーレンティア株式会社
本社所在地	〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15 菱進御成門ビル6F
設立	1970年(昭和45年)10月
代表者	代表取締役社長 梅木 孝治
資本金	9億6,390万円
売上高	192億5,412万円 (2024年12月期 単独) ※318億6,116万円 (2024年12月期 連結)
従業員	412名 (2024年12月末 単独) ※893名 (2024年12月末 連結)
事業内容	*FF&Eレンタル業。 建設業界・不動産業界・イベント業界をはじめ、国内外の企業向けにFF & Eをレンタル。 *furniture, fixtures and equipment (家具、什器、備品)



1. レンティアグループの概要

●グループ事業会社紹介

レンタル関連事業



スペースデザイン事業



●コユーレンティア株式会社

レンティアグループが展開する「FF & Eレンタル業」の中核事業会社。

建設現場事務所や不動産販売センター、各種イベント、一般企業向けレンタルなど、多彩なマーケットに対応。オフィス家具を始め、備品や家電品、OA機器など、多種多彩な商品を揃え、空間プランニングを含めたレンタルのトータルソリューションをご提供しています。

●コユーロジックス株式会社

日本全国に物流拠点を整備し、レンタル備品の配送、保管を請け負う事業会社。

独自の在庫管理と輸送システムを構築し、お客様のご要望に「ジャストタイム」でお応えしています。またレンタル備品のメンテナンスやクリーニング、修理なども担っています。

●ONEデザインズ株式会社

マンションのモデルルーム、販売センターにおける設計・施工・デザイン・インテリアコーディネート業務からご契約者の方々へのインテリアコンサルティングサービスなど様々なニーズに対応した快適空間作りに取り組んでいます。

1. レンティアグループの概要

●グループ事業会社紹介

物販事業



●広友物産株式会社・広友サービス株式会社

各種事務機器とインテリア家具の企画・販売を手がける事業会社。
オフィス家具や備品などを調達し、官公庁を中心に販売するとともに、リゾート施設向けのインテリア家具の企画・開発から販売などを行っています。

ICT事業



●コьюーイノテックス株式会社

オフィスなどのIT環境整備と、OA機器の保守点検サービスを提供する会社。
レンタルのトータルソリューションの一環として提供するITネットワーク構築や情報機器の調達を始め、各種OA機器の保守点検・修理、アフターサポートなどICT技術を活かしたサービスを実施しています。

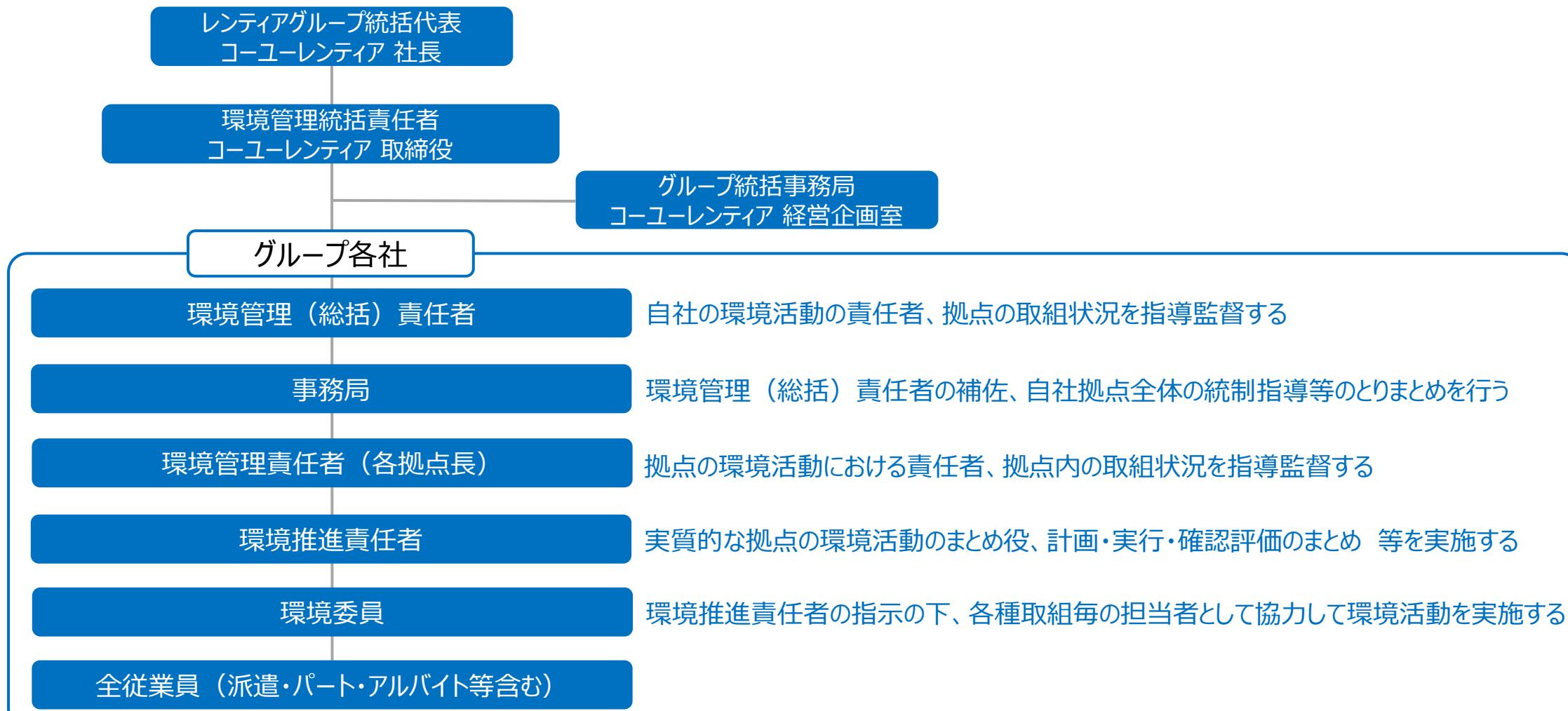


●イノテックスビジネスソリューションズ株式会社

コピー機・複合機・プリンタなどの出力システムを始めとする、オフィス機器やネットワークをトータルにサポートする、
オフィスのドキュメントソリューションを提案しております。※以降「IBS」と表記

2. 環境活動推進体制

グループ各社においては、環境管理（統括）責任者を中心に全従業員を適切に管理・指導しています



3. 環境ポリシー（環境経営方針）

レンティアグループは、FF&Eのレンタル・販売を核とした環境創造型企業として、企業活動及び社員の行動を通じ環境保全に努め、環境に配慮した商品を提供するとともに環境法令を遵守し資源節減・環境負荷低減を実施し、継続的改善により未来への共生を図ります。

1 環境負荷削減

- (1) 私たちは、製品のライフサイクル全般において「リデュース」「リユース」「リサイクル」をキーワードに、限られた資源を有効活用する循環型事業の拡大を目指します。
- (2) 私たちは、創エネルギー、省エネルギーを推進し、事業活動により排出されるCO₂を削減すると共に脱炭素社会に貢献します。
- (3) 私たちは、自然環境の保全、水資源の保護に貢献します。

2 コンプライアンス

私たちは、環境関連の法令遵守及び社会的環境ルールを守ります。

3 環境マネジメント

私たちは、環境マネジメントシステムを基本とし、体制を確立し、目標を設定、環境保全と環境改善に取組みます。

2025年1月15日
コユーレンティア株式会社
代表取締役社長 梅木 孝治

4. レンティアグループ 環境マテリアリティ

●限られた資源を有効活用する循環型事業の拡大



⇒ レンティアグループのレンタルサービスでは、「リデュース」「リユース」「リサイクル」をキーワードに環境負荷を低減することが可能です。
持続可能な消費と生産を促進し、気候変動の抑制に寄与していきます。

●事業活動により排出されるCO₂削減で脱炭素社会に貢献



⇒ さまざまな取り組みにより、レンティアグループは2030年までにCO₂排出量50%削減（2018年比）をめざします。

●再生可能エネルギーとレンタルの可能性を追求



⇒ 「レンタル」と「再生可能エネルギー」の可能性を追求し、新たな時代のニーズに対応した脱炭素ソリューションを開発。
これからも社会全体で環境保護に取り組めるビジネスやサービスを創造し、推進していきます。

★レンティアグループ【[サステナビリティ](#)】紹介ページは[こちら](#)



5. 環境経営中期目標

取組項目	単位	中期 基準年度	年度目標（基準年度比）				
		2022年度 実績	2023年度 目標値	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値	
二酸化炭素の 削減	電力使用量	MWh	1,769	1,751 (▼1.0%)	1,734 (▼2.0%)	1,716 (▼3.0%)	1,698 (▼4.0%)
	ガソリン使用量	kℓ	105	103 (▼2.0%)	101 (▼4.0%)	99 (▼6.0%)	97 (▼8.0%)
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	615	590 (▼4.0%)	566 (▼8.0%)	541 (▼12.0%)	517 (▼16.0%)
水使用量の削減	m ³	4,614	4,568 (▼1.0%)	4,522 (▼2.0%)	4,476 (▼3.0%)	4,429 (▼4.0%)	
廃棄物排出量の削減	t	1,460	1,445 (▼1.0%)	1,431 (▼2.0%)	1,416 (▼3.0%)	1,402 (▼4.0%)	
化学物質使用量の削減			化学物質使用量の把握と適正な管理				
エコピープルの育成 (eco検定取得者数)	人	30	30	30	30	30	

6. 環境経営計画に基づき実施した主な取組み

当グループの環境活動取組内容は以下の通りです。



● 廃棄物



- ①廃棄区分の明確化
- ②環境啓発運動の実施
- ③マイ○○の推進
- ④リサイクル率の向上



● CO₂



【電気】

- ①部分消灯・業務時間以外の消灯
- ②No残業Dayで使用時間削減
- ③空調機器の適正な温度設定
- ④再生可能エネルギーの活用

【ガソリン】

- ①エコドライブの推進
- ②効率的な営業計画の策定
- ③燃費の良い営業車種の選定



● 水



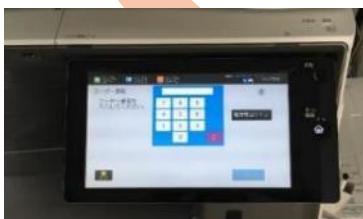
- ①節水喚起
- ②洗濯機の効率利用



● コピー用紙削減



- ①情報セキュリティを考慮した両面使用
- ②ITツール利用によるペーパーレス
- ③カウンタ使用によるプリント使用削減



● その他

- ①グリーン購入等、エコマーク商品の優先購入
- ②地域の清掃活動への参加
- ③ペットボトルキャップ・使用済み切手の寄附
- ④全拠点でのSDGsへの取組み



● 環境教育



- ①資格受験対策講座（勉強会）の実施
- ②拠点委員会による資格の受検推進
- ③環境推進企業の見学



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(1) 環境配慮のサービスおよび商品

オフィス移転サービス

オフィス家具レンタル事業で培ったメンテナンス技術とノウハウで、オフィス移転時の環境への配慮をお手伝いします。

オフィス探しからレイアウト・デザイン、内装工事、備品の調達、移転はもちろん、

- 不用品の買い取り、リサイクル、寄付・贈呈の仲介
- 家具・備品のリペア・クリーニング
- ゴミも徹底分別・分解、減容

さらに、リサイクル率の可視化や、移転に関わるCO₂排出量を見える化し、カーボンオフセット。**お客様の環境活動を支援します。**

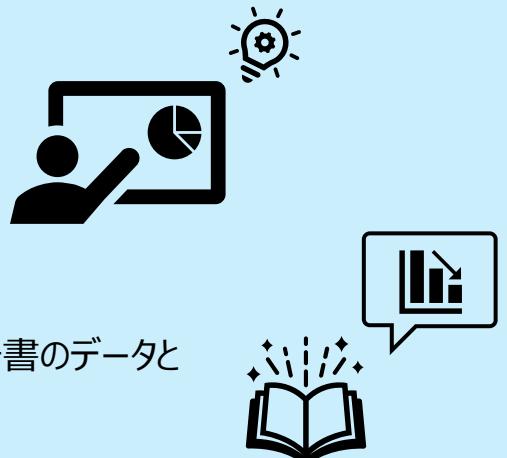
※カーボンオフセットサービスの詳細は次ページ

【お客様の環境活動を支援】

移転でのリサイクル率やCO₂排出量、温室効果ガスの削減活動のデータをご提供



環境活動報告書やCSR報告書のデータとして、ご活用が可能



★詳細は【オフィス移転サービス】紹介ページへ



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

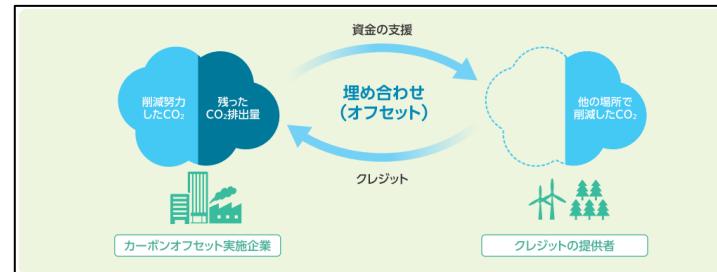
(1) 環境配慮のサービスおよび商品

カーボンオフセットサービス

レンタルで、片付けで、「ゼロカーボン」を実現。手軽に環境貢献ができるサービスを提供しています。

【カーボンオフセットとは】

カーボン=CO₂、オフセット=埋め合わせる、つまり経済活動等で排出するCO₂を省エネなどで減らす努力をした上で、どうしても排出されてしまう分を「CO₂削減プロジェクト」等に出資することで埋め合わせる仕組みです。



●カーボンオフセット・レンタル

お客様にご利用いただくレンタル商品の中でも、電化製品を対象として、使用時のCO₂排出量を算出するシステムを開発しました。商品のレンタル期間に応じたカーボンオフセットを可能にしています。

対象商品の一例…複合機、テレビ、シュレッダー、冷蔵庫、エアコン



●カーボンオフセット・不用品片付け

オフィス・店舗等の移転や改装等に伴い、什器備品類を片付ける際にも、お客様の目に触れにくいところでCO₂が排出されています。当社では、移転や不用品処分に伴うCO₂排出量を算定、カーボンオフセットし、細部にわたり環境配慮を徹底させたいとお考えのお客様のご要望にお応えしています。



★詳細は【カーボンオフセットサービス】紹介ページへ



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(1) 環境配慮のサービスおよび商品

太陽光発電×蓄電池のレンタルを中心とした脱炭素ソリューション

「レンタル」と「再生可能エネルギー（以下再エネ）」の可能性を追求し、新しい時代のニーズにレンタルで応える脱炭素ソリューションです。2010年のサービス開始以来、短期間でも手軽に太陽光発電をレンタルでご利用頂けることが、多くのお客様から支持されています。お客様の具体的な脱炭素への取り組みに加え、仮設電源として使用する燃料型発電機に代わる再エネ電源としても選ばれています。

■工事現場

現場事務所のZEB化や現場CO₂削減に加え
燃料が使用できない場所での仮設電源として
脱炭素に向けた具体的な取り組みの実践



■イベント会場

主催者による具体的な取り組みとして
イベント会場のCO₂削減やグリーン電力導入など
社会要請に応える取り組みを共有・普及・啓発



■災害復旧

燃料型発電機は
燃料確保が難しく
再エネ電源で電源確保



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(1) 環境配慮のサービスおよび商品

太陽光発電×蓄電池のレンタルを中心とした脱炭素ソリューション

●ソーラー電源を使用することは燃料を使用しない選択、レンタルを通じて実質CO₂削減にも貢献

近年、工事現場ではカメラや通信機器など、多くのデバイスが複数台、分散設置され、同数の電源を確保する必要が生じています。通常は燃料型発電機を使用しますが、私たちは独自技術でオリジナルのソーラー電源を開発し、お客様の新しい選択肢をご用意しました。ソーラー電源が選ばれ、燃料型発電機で本来排出されるCO₂の発生を防ぐことは、レンタルを通じてCO₂削減に貢献しているとも言えます。「ピコソーラーパワーサプライ」や「独立ソーラー電源：そらジェネ」は各地の工事現場やイベント会場、実証実験などで活躍しています。

※独自技術は国土交通省のNETIS登録技術にも採用されています。

●使用済み太陽光パネルを使って、カーボンニュートラルを実現する未来

一般社団法人太陽光パネルリユース・リサイクル協会に本年度より参加しました。

(<https://sp2ra.jp/>)

使用済み太陽光パネルの適正リサイクルの義務化について道筋は見えてきました。

一方で使用済み太陽光パネルのリユース市場の創出が課題とされています。

リユース市場が創出された未来では使用済み太陽光パネルによる再エネ導入が加速し、カーボンニュートラルの早期達成に繋がる可能性があります。

私たちは繰り返し使用するレンタルのノウハウや経験を活かし、使用済み太陽光パネルの利活用の検討を強化して参ります。



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(1) 環境配慮のサービスおよび商品

リペア・クリーニング サービス

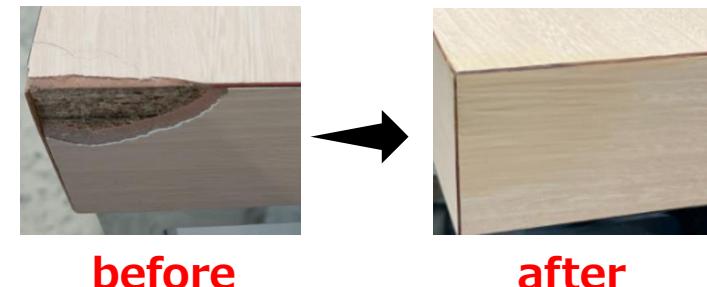
オフィス、店舗、各施設で長年お使いのイスやソファ、木工家具等、汚れたり古くなつたものを捨ててしまうのではなく、今のモノを新品のように生まれ変わらせるサービスです。

●リペア

木工家具であれば、補修（リペア）が可能です。テーブルの天板の穴埋めや傷の補修、木角の剥がれなどを補修します。

また、パーテーションのリペアも多く実施してきましたが、最近では、外注業者の協力で対応できる木製品も増加しており、一層廃棄物削減に貢献しています。

社内のリペアの技術向上や他社とのアライアンス（業務提携）により、お客様へ提供できるサービスの拡大とともに、限られた資源を有効活用する循環型事業の拡大も図っています。



●クリーニング・張替え

汚れやシミを取り除くクリーニングや、布・レザー・ビニール部の張り替えで新品同様に生まれ変わらることができます。



★詳細は【リペア・クリーニング】サービス紹介ページへ



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(1) 環境配慮のサービスおよび商品

再生材を使用「アトレソファ」

クッション素材に、沿岸部に打ち上げられたペットボトルやプラスチックごみを回収して作られた綿を使用しています。



長寿命化「フェニックス天板」

最先端技術の天板を採用し、デザインも重視しながら、機能性としても、小さな傷であればアイロンなどの熱やメラミンスポンジによる摩擦熱を使うことにより、簡単に修復することが可能なロングライフ設計となっています。



取扱説明書をQRコード化

レンタルの度に印刷していた取扱説明書のペーパーレス化を実施。紙の使用量だけでなく、インクや保管スペースのコスト削減や、利用効率の向上、セキュリティの強化にもつながっています。



★詳細およびその他の取組みの紹介は[【特集】ページ](#)へ

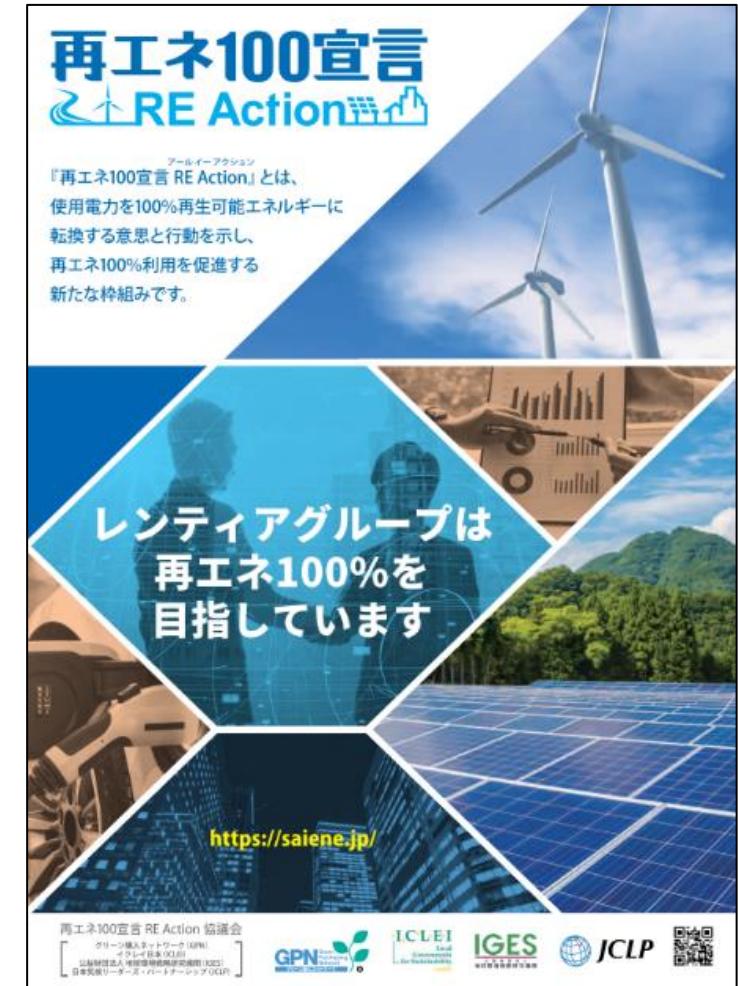


7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(2) 温室効果ガス排出削減と再生可能エネルギーの導入

『再エネ100宣言 RE Action』への参加

使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みである、『再エネ100宣言RE Action』に参加しています。2030年までに、事業活動に伴う電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目指します。これまでの取組みが評価され、会員向けのセミナーで事業紹介や、雑誌・新聞の取材も受けました。



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(2) 温室効果ガス排出削減と再生可能エネルギーの導入

太陽光パネルの設置

太陽光パネルレンタル事業のノウハウを活かし、自家発電での再エネも推進しています。

特に九州エリアセンター（物流倉庫）では、リユースパネル（太陽光パネル340W×198枚、発電出力 67.32kW）を活用すると共に、蓄電池を組み合わせた太陽光発電システムを設置しました。

現在、太陽光パネル設置済の3拠点の発電量は、HPからリアルタイムで誰でも確認できるようになっています。



★[太陽光発電量ページへ](#)



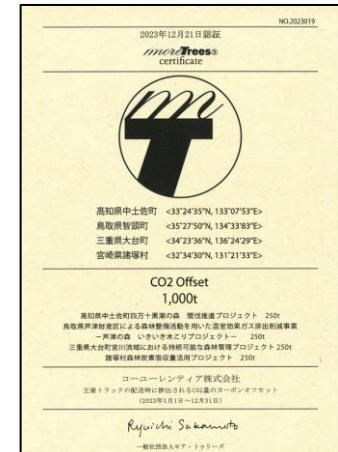
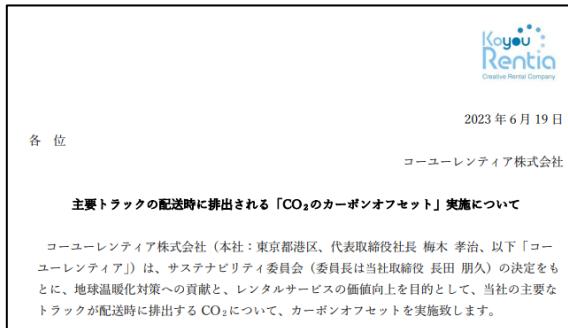
7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(2) 温室効果ガス排出削減と再生可能エネルギーの導入

配送車両の「カーボンオフセット」

地球温暖化対策への貢献とレンタルサービスの価値向上を目的として、コーエーロジックス株式会社の主要トラック（約60台）が配送時に排出したCO₂について、2023年分からカーボンオフセットを実施しています。

このようなサプライチェーンに関する脱炭素は初めてで、商品開発から営業、物流までをバリューチェーンとして捉え、脱炭素に向けグループ一体として取組みを強化していきます。

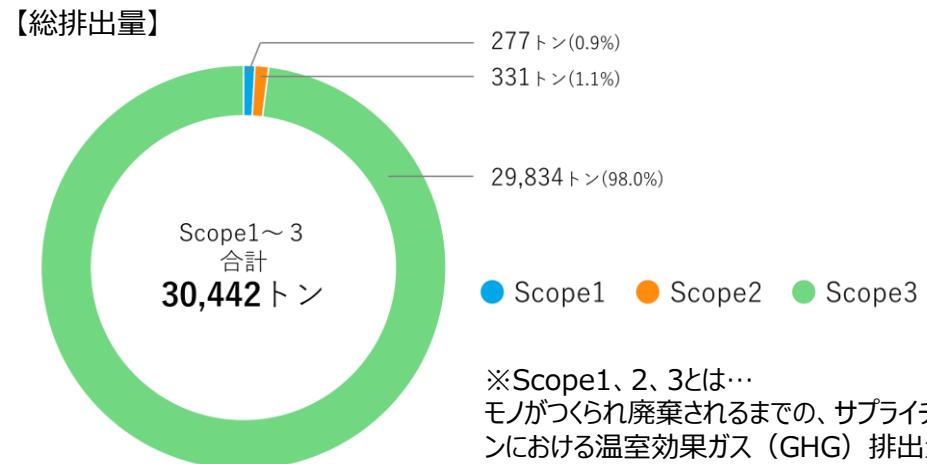


オフセット証明書

Scope1、2、3の算定

ESG経営を深化するための施策として、環境に与える負荷を見える化し、継続的改善を図るため、Scope1、2、3の算定を実施しました。

今後は、集計結果に基づき、レンタル製品の使用時や、配送および調達プロセスにおける環境負荷低減を図り、サプライチェーン全体でのCO₂排出量の削減に貢献してまいります。



※Scope1、2、3とは…
モノがつくれられ廃棄されるまでの、サプライチェーンにおける温室効果ガス（GHG）排出量の捉え方で、1～3で分類する方法。

7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(3) 環境意識の向上

環境月間（概要）

社員の環境問題に対する意識の向上と活動の活性化を促す目的で、2018年6月より**グループ全社員を対象**とした環境取組みである「環境月間」を実施しています。多くの活動報告がある中から、グループ代表（コーューレンティア社長）等による選考で、2024年度は金賞をはじめとした全12賞が選ばれました。年々取組み内容も濃く多様化しており、意欲的に参加する社員が増えています。

●参加人数…568名（前年度比15%増）

●参加率…55.5%

●応募件数…42件（前年度比7件増）

【特徴①】審査員へプレゼン大会を実施

賞の候補として一次選考から選ばれた各活動について、本人たちによるプレゼンの最終選考会を実施。直接アピールできる機会にもなり、各拠点、気合の入ったPRがなされていました。講評もあり、参加へのモチベーションアップにつながっています。



【特徴②】表彰式の実施、オリジナルの楯とトロフィーの贈呈

各賞受賞者へは、表彰式を実施し、社長より直接表彰状が贈られます。更に、上位賞へ贈られる「木製トロフィーと楯」はオリジナルデザインで製作し、木材は創業60周年記念樹を植えた東京都檜原村のヒノキ材を使用し、当グループの環境取組みを一層感じてもらえるものになりました。

現在トロフィーは、前年金賞の九州拠点から移り、現在は金賞を獲得したビジネスサポートセンターにあります。今後も、金賞を受賞した拠点・チームへ持ち回りとなります。



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(3) 環境意識の向上

環境月間（各賞の紹介）

【金賞】衣・食 サステナブルな暮らし！（ビジネスサポートセンター）

内容：2年前に行った不用品交換会をレベルアップ。今年は残ってしまった不用品を“フードバンク”や“リサイクル店”に持参するところまで視野に入れて実施。



【サステナビリティ賞】

時速20km5秒運動～経費ゼロで取組みできるSDGs～ (イノテックスビジネスソリューションズ)

内容：社有車を運転する際に、停車時から時速20kmに到達するまで5秒かけて運転する活動。実施にあたり、後続車とのトラブル防止や取組みの共感の為に車両後方にステッカーを貼付。



【銀賞】

エコふあみアプリ登録／エコふあみ協賛店への登録 (九州拠点)

内容：九州7県の公式環境アプリを使って、毎日のエコチェック、エクイズに回答、動画の視聴ポイントを貯めたりと、楽しみながら環境について学び、環境意識の向上を図る。



【銅賞】

健康経営アプリ活用による寄付ウォーキング参加 (ONEデザインズ)

内容：ウォーキングアプリを活用し、企業対抗寄付ウォーキング大会に参加。参加者一人が一日3千歩を達成すると1円が能登半島地震被災地を支援する4団体に寄付される



【その他 各賞】

- ・クマと共生しま賞
- ・ECOセールス賞
- ・ECOロジ賞
- ・ECOアピール賞
- ・ECOプレイヤー賞
- ・ECOラーニング賞
- ・ECOファミリー賞
- ・ラッキー7特別賞



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(3) 環境意識の向上

eco検定取得の推進

「将来的にグループ全社員取得」を目指し、外部講師による「受験対策講座」、合格時に報奨金の支給、受験日程の情報やWEB受験の注意点の情報提供等、様々なサポートを実施しながら、eco検定の取得を推進しています。特にイノテックスビジネスソリューションズ株式会社では合格者が多く、2024年度eco検定合格者数ランキング（従業員300名以下の部門）にて、第5位となりました。



受験対策講座の様子
リモートでも全国から多数の出席者有り

月刊環境通信「オイコス」の発信

社員向けの、環境情報発信を2009年9月から毎月実施中。環境に関する社内の取組みや、世の中の身近な話題から世界の話題まで、分かりやすく、興味を持ってもらえるよう紹介しています。



7. 主な環境に貢献する事業および活動の紹介

(4) その他の環境取組み

木育活動

レンティアグループでは2017年5月に創業60周年を記念して、東京都檜原村に15本のヒノキ苗を植樹しました。1年前から更に高く、幹も太くなり、毎年成長に驚かされます。

生物多様性に貢献し、美しい森林を残していくため、今後も森の整備を実施していきます。



拠点地域との関わり

● 環境認証の取得

グループ3社（レンティア、ロジックス、イノテックス）の東北拠点では、2022年に仙台市の「ごみの減量・リサイクルの推進などに取り組む事業者」として【エコにこマイスター】の認定を取得しました。その後、ごみ減量やリサイクル、食品ロスへの積極的な活動等、環境負荷低減の活動を継続し、評価され、より審査基準の厳しい「エコにこゴールドマイスター」の認証取得となりました。



拠点周辺の定期的な清掃活動

全国各拠点のある地域の、清掃活動にも積極的に参加しています



8. 環境経営目標の実績評価（環境負荷）

取組項目	単位	2022年度実績値	2024度目標値 (基準年度比)	2024年度実績 (目標値との比較)	対目標達成率／評価	
二酸化炭素の削減	電力使用量	MWh	1,769	1,734 (▼2.0%)	2,259 (▲30.3%)	76.8% ★
	ガソリン使用量	kℓ	105	101 (▼4.0%)	181 (▲79.2%)	55.8% ★
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	615	566 (▼8.0%)	1,005 (▲77.6%)	56.3% ★
水使用量の削減	m ³	4,614	4,522 (▼2.0%)	7,083 (▲56.6%)	63.8% ★	
廃棄物排出量の削減	t	1,460	1,431 (▼2.0%)	1,828 (▲39.1%)	78.3% ★	
化学物質使用量の削減			化学物質使用量の把握と適正な管理	—	適切に管理できた	
エコピープルの育成 (eco検定取得者数)	人	30	30	54	180% ★★★	

※2024年度よりIBSもEA21認証範囲とし、社員・拠点・社有車等、実績把握範囲の拡大に伴いグループ環境負荷の実績も大幅に増加。当初の目標は未達成となった。

* 電力は2020年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数を使用

北海道電力:0.549 東北電力:0.457 東京電力:0.441 中部電力:0.377 関西電力:0.350 中国電力:0.521 四国電力:0.569 九州電力:0.479 沖縄電力:0.705

* 評価基準：～89.9% ★、90.0～99.9% ★★、100%～★★★

8. 環境経営目標の実績評価（環境負荷） 詳細

（1）環境負荷削減取組み全体

イノテックスビジネスソリューションズ株式会社(I B S) のグループ参加に伴い、対象人数が約160名増加、環境負荷削減取組みにおいては、eco検定取得者人数の目標を除いて未達成となりました。

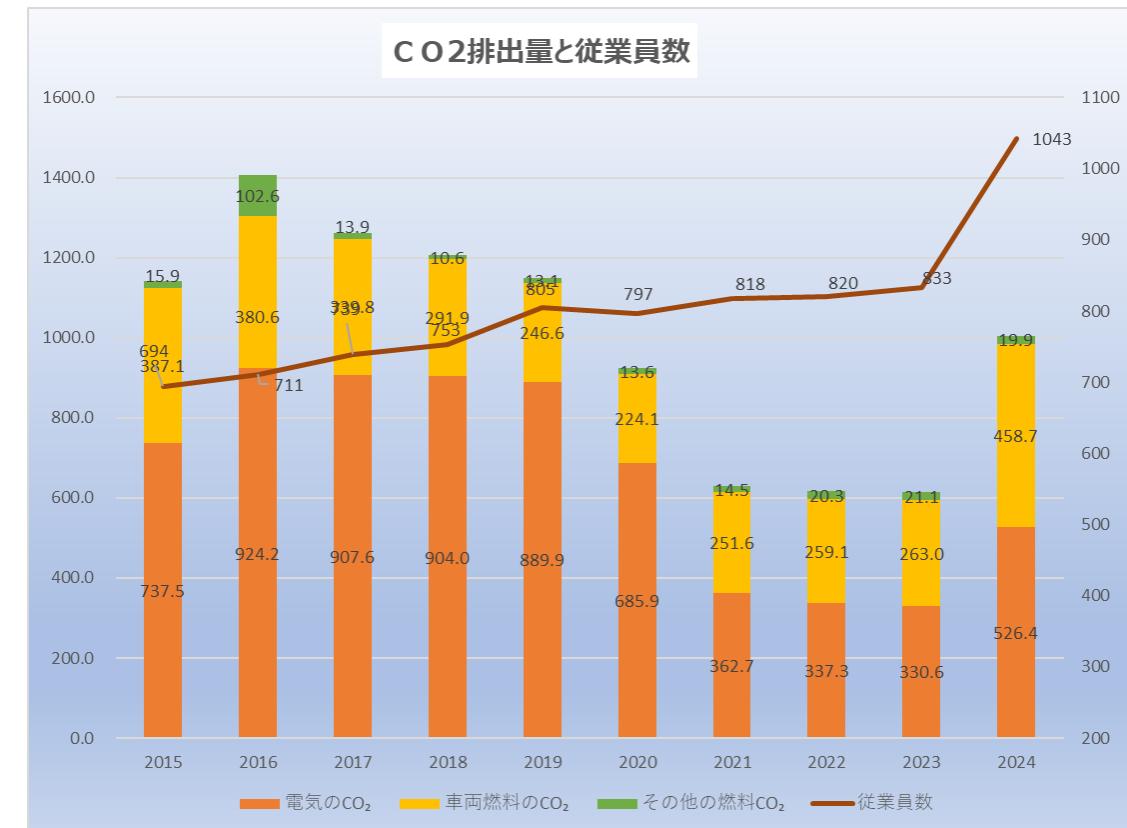
（2）主要な項目

①CO₂排出量の削減

目標値：566t-CO₂ → **実績値**：1,005t-CO₂
達成率：56.3% **評価**：★

分析・評価：

排出量増加の主な要因としては、I B Sのガソリン排出量と電気使用量把握困難拠点の算定見直しがあります。なお、移転に伴い再エネ電力利用が終了した拠点もありましたが、2024年度末より再エネ拠点を改めて増やしたため、次年度に効果がでると思われます。引き続き、再エネ電力拠点の増加、環境配慮車への転換等を進めています。



8. 環境経営目標の実績評価（環境負荷） 詳細

②社員一人当たり原単位のCO₂排出量 (kg)

2023年度：738.0kg → 2024年度：963.6kg

評価：★

分析・評価：

グループ全体のCO₂排出量は、前年度から約1.6倍の増加となりましたが、社員数も増加し、一人当たりのCO₂排出量は約1.3倍に抑えることができました。

会社毎に差はありますが、特に一人当たりのCO₂排出量が多い会社では、一層削減施策を推進していきます。



CO₂排出量を、スギ1本の年間CO₂吸収量に換算すると…
2024年度 約110本分 参考：林野庁ホームページ



8. 環境経営目標の実績評価（環境負荷） 詳細

③エコピープルの育成（eco検定取得者の増加）

目標値：30名増 → 実績値：54名増

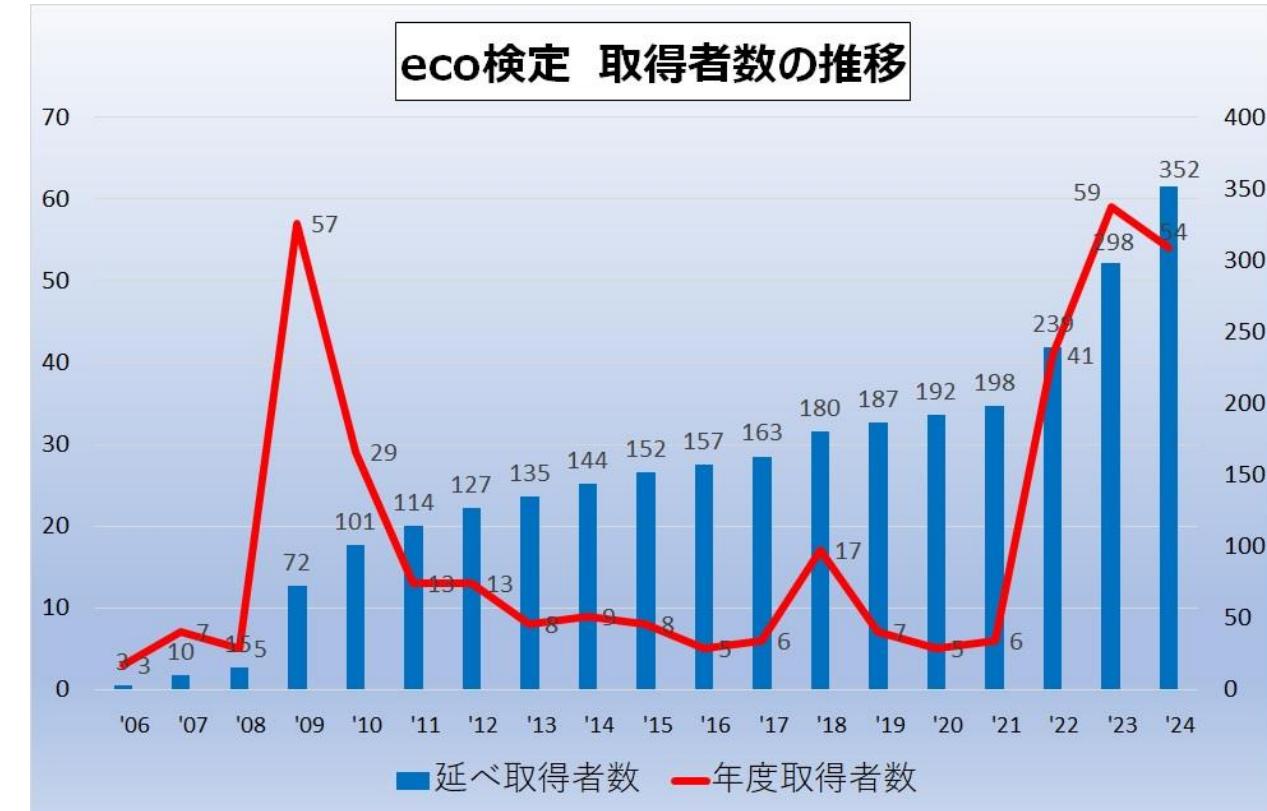
達成率：180% 評価：★★★

分析・評価：

2023年度に引き続き、多くの社員が取得しました。

会社としても学習の機会の提供、受験のサポートを継続したほか、「昇格にあわせて受験を決めた」

「部署内で声をかけ合い、一緒に受験しモチベーションをアップした」と社員の間でも、積極的に受験推進する気風が感じられました。



8. 環境経営目標の実績評価（各事業会社独自）

事業会社	2024度目標項目	目標値	2024年度実績	評価
コーユーレンティア	レンタル品AB*製品の売上向上	前年度比 5.9%以上増加	17.0%増加	★★★
コーヨーロジックス	処分品の再商品化	前年度比 2.0%以上増加	-9.0%	★
コーヨーイノテックス	レンタル品AB製品の売上向上	前年度比 10%増加	-3.3%	★
ONEデザインズ	①レンタル品AB製品の売上向上 ②ONEデザインズで保有しているFF&Eを使った事業での納品件数向上	①前年度比 1%増加 ②前年度比 1件増加	①7.8%増加 ②7件増加	★★★
広友物産・広友サービス	抗ウイルスコーティングサービスの展開	受注件数8件以上	9件	★★★
イノテックスビジネスソリューションズ	eco検定取得者増加	19名増加	25名	★★★

*レンタル品ABはコーヨーレンティアが複数回レンタルする主力商品

*評価基準：～89.9% ★、90.0～99.9% ★★、100%～★★★

各事業会社は、取り扱う製品やサービスの特性を活かした目標を掲げて環境経営に取組みました。建設やイベントの大型案件の受注によりレンタルにおける営業活動が活発化、IBSも初めての目標設定でしたが計画的に取組み、レンティアグループとしては概ね目標を達成することができました。今後も、これまでの『三方よし』に未来を加えた『四方よし』の精神に基づき、サステナブルな社会の実現に貢献する目標を設定し、その達成に向けて尽力していきたいと思います。

9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画（環境負荷）

● 環境経営中期目標（認証範囲拡大後 対応版）

※認証範囲の拡大にあたり、当初定めた2022年度比は困難なため、拡大初年度の2024年度比で改めて目標を設定する

取組項目	単位	中期基準年度	年度目標（基準年度比）		
		2024年度 実績	2025年度 目標値	2026年度 目標値	
二酸化炭素の削減	電力使用量	MWh	2,259	2,236 (▼1.0%)	2,213 (▼2.0%)
	ガソリン使用量	kℓ	181	177 (▼2.0%)	174 (▼4.0%)
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,005	965 (▼4.0%)	925 (▼8.0%)
水使用量の削減	m ³	7,083	7,012 (▼1.0%)	6,941 (▼2.0%)	
廃棄物排出量の削減	t	1,828	1,810 (▼1.0%)	1,791 (▼2.0%)	
化学物質使用量の削減			化学物質使用量の把握と適正な管理		
エコピープルの育成 (eco検定取得者数)	人	30	50	50	

9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画（環境負荷）

取組項目	単位	基準値 (2024年度実績)	目標	2025年度の取組み (計画)
			2025年度 目標値	
二酸化炭素の削減	電力使用量	MWh	2,259	2,236 (▼1.0%)
	ガソリン使用量	kℓ	181	177 (▼2.0%)
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,005	965 (▼4.0%)
水使用量の削減	m ³	7,083	7,012 (▼1.0%)	・従前からの取組み徹底 (継続実施) ・再エネ電力への切り替え ・太陽光発電パネルの設置 ・環境配慮車への 切り替え推進 ・eco検定勉強会の実施、 取得の推進
廃棄物排出量の削減	t	1,828	1,810 (▼1.0%)	
化学物質使用量の削減			化学物質使用量の把握と適正な管理	
エコピープルの育成 (eco検定取得者数)	人	30	50	

9. 次年度の環境経営目標（各事業会社独自）

事業会社	2025年度目標項目	目標値
コーユーレンティア	統制目標：レンタル品AB*製品の売上向上 任意目標：各拠点による	各拠点による
コーヨーロジックス	処分品の再商品化	前年度比 2.0%増加
コーヨーイノテックス	会社全体：レンタル品AB製品の売上向上 拠点毎：各拠点による	前年度比 10%増加 各拠点による
ONEデザインズ	①レンタル品AB製品の売上向上 ②ONEデザインズで保有しているFF&Eを使った事業での納品件数向上	①前年度比 1%増加 ②前年度比 1件増加
広友物産・広友サービス	抗ウイルスコーティングサービスの展開	受注件数 8件以上
イノテックスビジネスソリューションズ	複合機のレンタルMIF増加	前年度比 0.7%増加

10. 主な環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

法律名等	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	判定	該当事業会社
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物の収集運搬・処理の業者への委託	○	全事業会社
	産業廃棄物運搬・処理業者に委託	○	
	産業廃棄物排出事業者としてマニフェスト票の交付及び保管	○	コーエーレンティア、コーエーロジックス
	収集運搬車両への表示と書類備え付け	○	コーエーイノテックス、ONEデザインズ
	産業廃棄物の処理状況確認努力義務	○	広友物産、広友サービス、IBS
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	○	
資源有効利用促進法	レンタル商品、販売パソコン	○	コーエーレンティア、コーエーイノテックス IBS
容器包装リサイクル法	過剰包装を避け、簡易包装または繰り返し使用可能な梱包資材の使用	○	コーエーレンティア
家電リサイクル法	エアコン、ブラウン管テレビ、冷蔵庫、液晶テレビ、プラズマテレビ、衣類 乾燥機、電気洗濯機のレンタル製品等	○	コーエーレンティア、コーエーロジックス ONEデザインズ、IBS
小型家電リサイクル法	パソコン、携帯、DVDプレイヤー等のレンタル製品等	○	コーエーレンティア、コーエーロジックス コーエーイノテックス、ONEデザインズ IBS
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器等（会社所有の業務用エアコン他）の管理者	○	コーエーレンティア、コーエーロジックス ONEデザインズ、IBS
化学物質排出把握管理促進法	（当グループはPRTR制度に該当しないが）使用している塗料、シン ナー等の把握管理	○	コーエーロジックス

当グループに適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
 また、関連機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年度は、国際的なイベントの開催に向けた準備や、設備投資型の建設現場等、大規模な案件の多い年となりました。

レンティアグループの業績は、売上高こそ過去最高となりましたが、調達や販管費等の増加により、営業利益は計画を下回る結果となりました。非財務面では、中期経営計画の初年度として、ESG経営を深化させるべく、新規事業の創出、経営基盤の強化に加え、人的資本の充実に取り組んでまいりました。また、持続可能な社会に貢献しながら企業が成長することを目的として設置したサステナビリティ委員会は2年目を迎え、グループ会社間・各セグメント間で情報共有しながら、様々な取り組みを計画・実施しています。

エコアクション21のグループ組織体制は、2024年度より新たに「イノテックスビジネスソリューションズ株式会社」を加え、認証範囲を拡大しました。拡大にあたり約1年前からグループ事務局を中心に取り組み体制の整備・社員への教育等の準備を進め、現地審査では「真摯に向き合い、活動内容を理解し、積極的に取り組んでいる」との評価をいただき、社員一人ひとりの理解と取り組みの成果を出すことができたと思っております。

そのような中、温暖化抑制（環境負荷削減）の取り組みは、認証範囲の拡大に伴い新たに算定した拠点を加算した結果、CO₂排出量をはじめとした各項目で大幅な増加となり、目標達成には至りませんでした。今後は組織の変更に合わせて中期目標の再設定を実施しながら、新たに再エネ100電力とする拠点の追加や、電気・ガソリンの使用量の多い会社や拠点で、削減に向けた各種取り組みを一層推進し、環境経営中期目標の達成に向けた活動を実施してまいります。

一方eco検定取得者数については、前年度同様に多くの社員が取得しました。数年前から継続している受験対策講座の実施等により、社員の資格取得への意識向上を感じております。引き続き、「全員取得」に向けた施策を実施し、営業活動や業務への活用を目指してまいります。

2025年度は、グループの環境ポリシー（環境経営方針）を変更いたしました。社員に分かりやすい表現にすることにより、日々の環境活動への浸透を一層推進してまいります。尚、実施体制についても、一部組織の再編に伴い変更する予定です。

環境経営目標・計画に基づく個々の環境負荷削減の取り組みについては、環境委員が率先して遂行するとともに、『社員一人一人の行動が地球環境を支えていく』をスローガンのもと、オールレンティアグループとして取り組んでまいります。

今後もエネルギー価格や物価の高騰といった外部環境の影響が継続していくと予想されますが、エコアクション21の取組みを通じて、省エネルギー、コスト削減を継続し、環境関連法令を遵守しながら、企業として社会へ貢献する為、一層の努力をしてまいります。

コーユーレンティア株式会社
代表取締役社長 梅木 孝治



●環境経営レポートに関するお問い合わせ先

コユーレンティア株式会社
経営企画室 環境推進チーム
TEL:03-6671-6479 FAX:03-5931-4201
URL: <https://www.koyou.co.jp/>